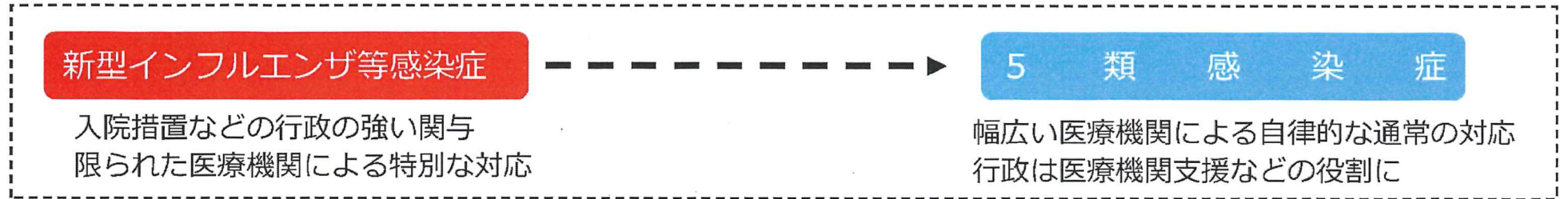


# 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う医療提供体制及び公費支援の見直し等について（ポイント）

参考資料

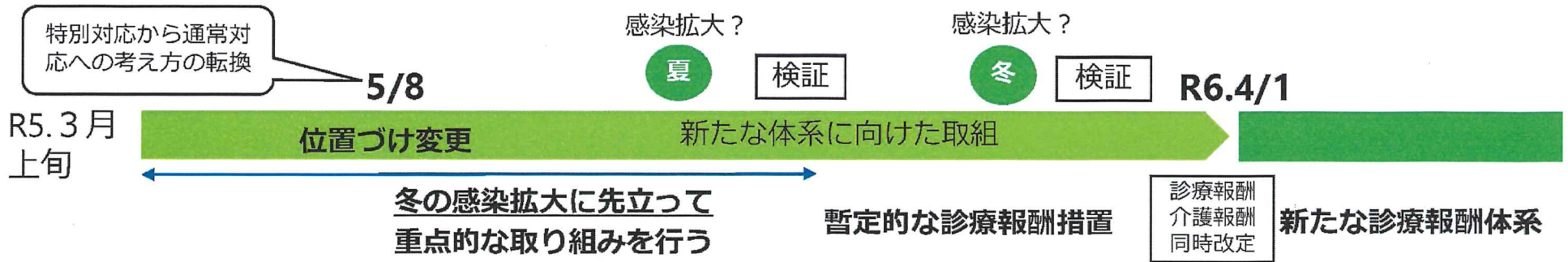
※ 本資料は、「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う医療提供体制及び公費支援の見直し等について」（令和5年3月10日新型コロナウイルス感染症対策本部決定）について、補足資料も加えつつポイントをまとめたものである。

## ○新型コロナウイルス感染症は、5月8日から5類感染症に



### 医療提供体制

幅広い医療機関で新型コロナウイルス感染症の患者が受診できる医療体制に向けて、必要となる感染対策や準備を講じつつ国民の安心を確保しながら段階的に移行



対応する医療機関の維持・拡大を促す。



外来：4.2万	→	最大6.4万
入院：約3千	→	全病院約8千

### 入院・外来の医療費

急激な負担増が生じないように、入院・外来の医療費の自己負担分に係る一定の公費支援について、期限を区切って継続

令和4年11月15日  
港湾局産業港湾課  
海事局外航課

## 国際クルーズの受入を再開します ～国際クルーズ運航のためのガイドラインが策定されました～

我が国では、2020年3月以降、国際クルーズの運航が停止しておりましたが、この度、関係業界団体によるガイドラインが策定・公表され、日本における国際クルーズの受入再開に向けた準備が整いましたので、お知らせいたします。

本年9月26日に、政府の新たな水際対策の緩和措置として、「現在、国際線を受入れていない空港・海港について、今後の就航予定に応じ、地方公共団体等の協力を得つつ、個別港ごとに受入に係る準備を進め、これが整い次第、順次、国際線の受入を再開する」ことが発表されました。

これを受け、外国クルーズ船社の業界団体である日本国際クルーズ協議会が「国際クルーズ運航のための感染拡大予防ガイドライン(第1版)」を作成し、また、本邦クルーズ船社の業界団体である日本外航客船協会が国際クルーズに対応した「外航クルーズ船事業者の新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン(第8版)」を、日本港湾協会が国際クルーズに対応した「クルーズ船が寄港する旅客ターミナル等における感染拡大予防ガイドライン(第8版)」をそれぞれ改訂しました。

国土交通省では、これらのガイドラインの内容について、感染症や危機管理等の専門家の方々からご意見を頂くとともに、関係省庁と確認いたしました。本日(11/15)、各団体よりガイドラインが公表され、日本における国際クルーズの受入を再開することとなりましたのでお知らせいたします。

今後は、各クルーズ船社が、寄港を予定している港の関係者と受入れに関する協議を行い、合意を得た上で、順次運航を再開することとなります。

※各ガイドラインについては、下記をご参照ください。

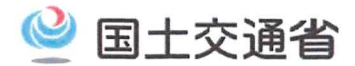
- ・国際クルーズ運航のための感染拡大予防ガイドライン(第1版) : [https://www.wave.or.jp/cruise/index\\_jicc.html](https://www.wave.or.jp/cruise/index_jicc.html)
- ・外航クルーズ船事業者の新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン(第8版) : <https://www.jopa.or.jp/>
- ・クルーズ船が寄港する旅客ターミナル等における感染拡大予防ガイドライン(第8版) : <https://www.phaj.or.jp/guideline/index.html>

### 【問い合わせ先】

国土交通省港湾局産業港湾課クルーズ振興室	池町、高原
電話：03-5253-8111（内線46431、46424）	（直通）03-5253-8672
	（FAX）03-5253-1651
国土交通省海事局外航課	仲村、横山
電話：03-5253-8111（内線43325、43352）	（直通）03-5253-8619
	（FAX）03-5253-1645



# 【参考】2023年3月以降のクルーズ予定一覧



○2023年においては、3月以降(3/1～12/6)、166本のクルーズ船の運航が予定されている。

## 定員(乗客+乗組員)3,000人以上のクルーズ船(運航本数:71本)

〈プリンセス・クルーズ〉 運航本数:32本

・ダイヤモンド・プリンセス(総トン数115,906トン・定員3,806人)  
【例】3/15-3/24 横浜～別府～鹿児島～**済州**～博多～長崎～油津～横浜

〈キューナード・ライン〉 運航本数:6本

・クイーン・エリザベス(総トン数90,901トン・定員3,061人)  
【例】4/19-4/28 横浜～八代～博多～**釜山**～金沢～秋田～横浜

〈TUIクルーズ〉 運航本数:2本

・マイン・シフ5(総トン数98,785トン・定員3,534人)  
【例】3/29-4/12 香港～上海～**釜山**～鹿児島～**基隆**～香港

〈カーニバル・クルーズ・ライン〉 運航本数:1本

・カーニバル・ルミノザ(総トン数92,720トン・定員3,310人)  
【例】9/14-10/15 **アメリカ**～釧路～青森～東京～広島～長崎  
～**東南アジア**～**アメリカ**

〈セレブリティ・クルーズ〉 運航本数:6本

・セレブリティ・ミレニアム(総トン数91,011トン・定員3,242人)  
【例】9/30-10/12 横浜～清水～神戸～大阪～高知～**釜山**  
～函館～青森～横浜

〈MSCクルーズ〉 運航本数:22本

・MSCベリッシマ(総トン数171,598トン・定員6,013人)  
・MSCボエジア(総トン数92,627トン・定員3,537人)  
【例】4/25-5/7 横浜～鹿児島～那覇～石垣～**基隆**～横浜

〈ロイヤル・カリビアン・インターナショナル〉 運航本数:2本

・スペクトラム・オブ・ザ・シーズ(総トン数169,379トン・定員5,797人)  
【例】8/12-8/24 横浜～清水～神戸～鹿児島～**フィリピン**  
～**ベトナム**～**シンガポール**

## 定員(乗客+乗組員)1,000人以上3,000人未満のクルーズ船(運航本数:56本)

〈ホーランド・アメリカ・ライン〉 運航本数:8本

・ウエステルダム(総トン数82,862トン・定員2,776人)  
【例】3/13-3/27 横浜～清水～神戸～徳島～高知～広島～敦賀～境港  
～**釜山**～**済州**～鹿児島～横浜

〈シルバークエスト・クルーズ〉 運航本数:17本

・シルバークエスト(総トン数40,791トン・定員1,007人)  
・シルバークエスト・ウィスパー(総トン数28,258トン・定員690人)  
【例】3/15-3/29 大阪～鹿児島～長崎～**釜山**～金沢～新潟  
～秋田～青森～函館～横浜～大阪

〈バイキング・オーシャン・クルーズ〉 運航本数:4本

・バイキング・オリオン(総トン数47,861トン・定員1,475人)  
【例】4/29-5/20 東京～小樽～**アメリカ**～**カナダ**

〈オーシャン・クルーズ〉 運航本数:9本

・ノーティカ(総トン数30,277トン・定員1,084人)  
・イグニシア(総トン数30,277トン・定員1,084人)  
・レガッタ(総トン数30,277トン・定員1,084人)  
【例】3/23-4/2 横浜～名古屋～神戸～広島～**釜山**～長崎～細島  
～高知～清水～横浜

〈リージェント・セブンス・クルーズ〉 運航本数:10本

・セブンス・エクスプローラー(総トン数55,254トン・定員1,299人)  
【例】3/14-3/28 東京～名古屋～神戸～別府～**釜山**～**済州**～長崎  
～名瀬～那覇～高知～清水～横浜

〈アザマラ・クルーズ〉 運航本数:4本

・アザマラ・クエスト(総トン数30,277トン・定員1,110人)  
【例】3/19-4/2 東京～青森～秋田～新潟～金沢～境港～**釜山**  
～北九州～広島～高松～神戸～清水～東京

〈ピース・ボート〉 運航本数:3本

・パシフィック・ワールド(総トン数77,441トン・定員2,934人)  
【例】4/7-7/24 横浜～神戸～**ワールド**～横浜～神戸

〈フレッド・オルゼン〉 運航本数:1本

・ボレアリス(総トン数61,849トン・定員2,022人)  
【例】2/21-5/13 **ワールド**～博多(3/30)～神戸～名古屋～横浜～**ワールド**

## 定員(乗客+乗組員)1,000人未満のクルーズ船(運航本数:39本)

〈ボナン〉 運航本数:9本

・ルソレアル(総トン数10,992トン・定員409人)  
【例】3/31-4/10 大阪～高松～広島～宇和島～唐津～**蔚山**～境港  
～金沢～佐渡島～小樽

〈VIVAグロイド・クルーズ〉 運航本数:7本

・オイローバ2(総トン数42,830トン・定員870人)  
・ハンセンティック・ネイチャー(総トン数15,651トン・定員400人)  
【例】3/27-4/12 東京～神戸～広島～別府～博多～**釜山**～**仁川**  
～**基隆**～香港

〈ウインドスター・クルーズ〉 運航本数:9本

・スター・ブリーズ(総トン数12,969トン・定員502人)  
【例】5/6-5/16 東京～清水～新宮～唐津～**釜山**～長崎～北九州  
～広島～高松～神戸

〈スワン・ヘレニック〉 運航本数:3本

・SHミネルバ(総トン数10,617トン・定員272人)  
【例】5/19-5/30 神戸～宇野～広島～北九州～境港～**釜山**～長崎  
～鹿児島～屋久島～宇和島～高松～神戸

〈コーラル・エクスペディションズ〉 運航本数:3本

・コーラル・アドベンチャー(総トン数5,536トン・定員150人)  
【例】9/23-10/7 東京～清水～新宮～大阪～徳島～小豆島～広島～松山  
～唐津～対馬～**済州**～佐世保～青方～福江～博多

〈リンドブラッド・エクスペディションズ〉 運航本数:3本

・ナショナル・ジオグラフィック・レゾリューション  
(総トン数12,786トン・定員238人)  
【例】8/24-9/4 神戸～宇野～高松～宮古島～屋久島～鹿児島  
～長崎～**蔚山**～萩～松江～金沢～新潟

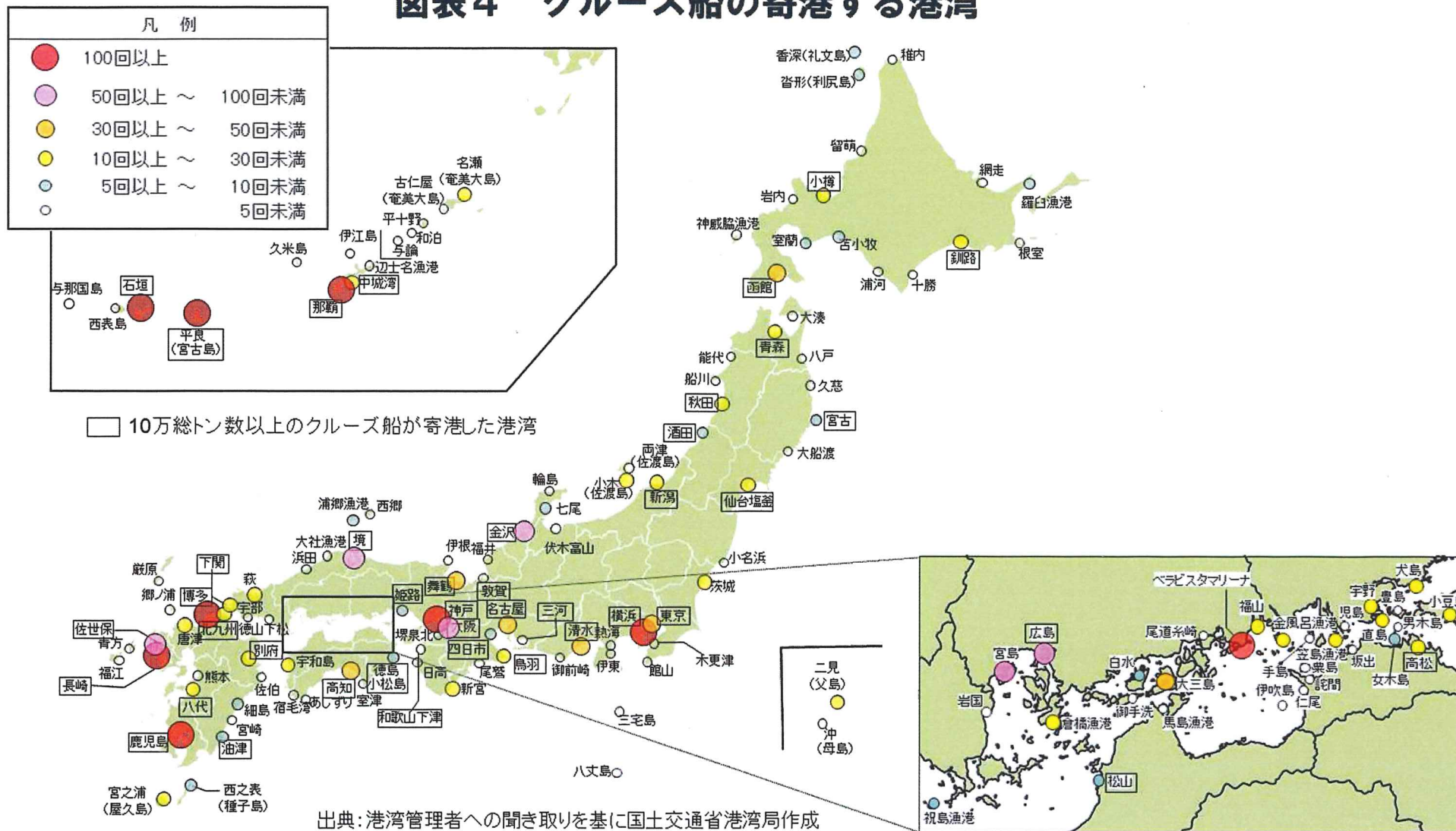
〈フェニックス・ライゼン〉 運航本数:1本

・アマデア(総トン数29,008トン・定員915人)  
【例】12/20-5/22 **ワールド**～清水(3/1)～名古屋～大阪～広島～金沢～新潟  
～**東草**～**釜山**～**済州**～長崎～鹿児島～那覇～**ワールド**

〈ヘリテージ・エクスペディションズ〉 運航本数:4本

・ヘリテージ・アドベンチャー(総トン数8,445トン・定員260人)  
【例】5/20-6/1 金沢～松江～萩～**蔚山**～随岐島～新潟～能代～室蘭  
～釧路～網走～利尻島～小樽

図表4 クルーズ船の寄港する港湾



出典: 国土交通省 2019年の我が国のクルーズ等の動向(調査結果)(令和2年9月25日)



2020年2月に新型コロナの集団感染が発生したクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」で、対面では初めてとなる「追悼の集い」が3日、横浜・大黒ふ頭で開かれた。当時の乗船客

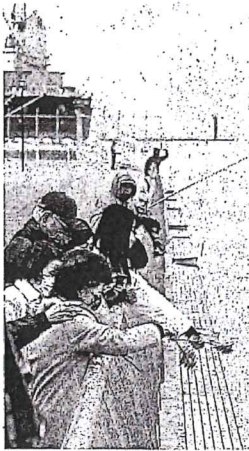
らが繰り返し求めているのは事故の真相を究明し、検証する責務を国が果たすこと。航空機やエレベーター、踏切事故の遺族らも駆けつけ、思いを共有した。(木原育子)

## クルーズ船感染 追悼の集い

# 「検証は未来の命救う」

黙とう。式典に参加した約三十人がこうべを垂れた。三年前の今日、クルーズ船は横浜港に入港した。乗船していた五十六カ国の三千七百余人のうち、七百十二人がコロナに感染し、十四人が命を落とした。

会場は、クルーズ船が停泊していた岸壁を望む建物の三階。式典前には、三年ぶりの再会に思わず抱き合ったり、涙ぐんだりする姿も。土屋碩之さん(ハ)と京子さん(ハ)は「少し自分の気持ちを整理できた」とほっと



ダイヤモンド・プリンセスが停泊していた岸壁の近くで海に献花する当時の乗船者ら。いずれも横浜市鶴見区で

(左から) 千田忠さん、美谷島邦子さん、市川正子さん、チャーロック英子さん、加山圭子さん



## 災害・事故遺族らと国に訴え

が必要なのかを明らかにすることに「と結んだ。そんな様子を静かに見守ったのは、航空機墜落や踏切事故など、別の事件事故で大切な人を奪われた遺族らだった。

○五年に四人が死傷した東武伊勢崎線竹ノ塚駅の踏切事故で、母(ハ)当時(ハ)を亡くした加山圭子さん(ハ)は「事故後に私たちが国や鉄道会社に対策を求めたが、なかなか動かなかった。乗船客の皆さんの気持ちはよく分かる」と訴えた。

一四年の御嶽山(長野、岐阜県境)の噴火災害の遺族らでつくる「山びこの会」事務局代表のチャーロック英子さん(ハ)も「乗船者には下船後も心のケアも何もなかったと聞く。社会から忘れられ、語られなくなることは、どれだけつらく大変か」と思いを寄せた。

東京都港区のマンションで〇六年、シンドラーエレベーター社製のエレベーターに挟まれ、高校二年の長男大輔さん(ハ)当時(ハ)を亡くした。

「幅広く被害者や被災者の当事者運動とつながり、大きな枠組みで連帯することには不可欠だと感じた」と今後の連携を見据えた。

くした市川正子さん(ハ)は、今もエレベーターに乗れず、会場の建物のそばで式典を見守った。「私の時も国に再三にわたって検証を求め、再発防止策がまとまったのは十年後だった」とし、「命を守るために国が何をし、どう再発防止に動いたかを求めるのは、どの事件や事故でも遺族にわき出る共通の問いだ。社会が人ごとするのが遺族を最も苦しめる」とも語った。

一九八五年の日航ジャンボ機墜落事故で、次男健君(ハ)当時(ハ)を亡くした美谷島邦子さん(ハ)は、「検証は未来の命を救うことにつながる。被害者をメンバ―に入れ、早急に検証を進めることは国の当然の責任だ」と語気を強めた。

式典後、参加者らは白や黄色の吊いの花を一輪ずつ海に手向けた。千田さんは「幅広く被害者や被災者の当事者運動とつながり、大きな枠組みで連帯することには不可欠だと感じた」と今後の連携を見据えた。

した様子だった。ただ、式典の多くは、国の責任を問う言葉であふれた。運航会社からの謝罪も説明もないままだ。主催した乗船者らでつくる「全国連絡会」共同代表の千田忠さん(ハ)は「札幌市(ハ)はあいさつで「具体的な感染症対策を欠いていた」とは明らか。国は検証する

と言ったのに、いまだなきやうに「と批判。式典最後には中田良平さん(ハ)が「東京都大田区(ハ)が「宣言」を朗読。「私たちは忘れない。記録し、伝え、検証を求めます」と切り出し、「私たちの意図は、誰かに責任を負わせることにあるのではなく、同じ事態を再び起こさないために何